

同志社生協 総代会の取り組み



[組織運営]

取り組み概要

日時：5/25(木)18:30～21:00
場所：明德館食堂
参加者数や組合員の反応：実出席62名、
オブザーバー26名と100名弱の組合員が集
まった。

背景や概要：総代会の認知度が低い現状
があることから、同志社生協公式LINEで
の告知やアイデア井コンテストなどを実
施。

対面の良さを活かした総代会

POINT.1

分科会や懇親会などの楽しいコンテンツ



同志社生協の総代会では、職員・学生の取り組み報告は5分程度の動画を流していました。学生委員会の動画は現代っ子が作ったため、飽きずに聞くことができる工夫がされていました。

提案や分科会などのコンテンツが終了したあとは、懇親会を行いました。懇親会では店長が作ったオードブル料理が提供されていました。また、ビンゴ大会も行っていて、職員同士、総代同士の仲を深めることができていました。対面の総代会を活かした取り組みとなっていて、改めて雑談の重要性を感じました。

POINT.2

組合員の声を聞く工夫

総代会当日は、「ショップ」「食堂」「広報SNS」「学び」の4つのテーマで分科会を行いました。各班には職員がいて進行や議事録を担当しており、学生の声を聞くことができていました。

また、同志社生協では総代会の認知度が課題となったため、事前に同志社生協公式LINEで総代会の告知をしていました。その後、総代会で集められた声、店舗に集められた声、同志社生協公式LINEで集められた声を理事会にて報告しており、組合員の現状や生協への意見を伝える機会となっていました。



POINT.3

アイデア井コンテストの開催



総代会の時期に合わせて、組合員参加企画として「アイデア井コンテスト」を実施していました。アイデアが採用された組合員には生協電子マネーをプレゼントする仕組みで、応募総数は321通となり、多くの組合員が参加していました。

コンテストの結果として、メニュー採用者は4名、アイデア賞は10名でした。凝ったアイデアがたくさんあり、生協が憩いの場となっていました。